

2014年7月8日

公益社団法人 関西経済連合会

女性のエンパワメントのための「米国派遣プログラム2014」現地研修の実施について

関西経済連合会は、7月13日から8日間の日程で、会員企業の社員を米国に派遣し、今年5月から女性のエンパワメントをテーマに実施している「米国派遣プログラム」の現地研修を実施いたします。

「米国派遣プログラム」は、ルース前駐日米国大使の発案により、2011年度から関経連と駐大阪・神戸米国総領事館との共同事業として行っているもので、昨年までの3年間は、若手人材における企業家精神の醸成をテーマに実施してきました。

今年度は、少子高齢化や企業における顧客ニーズの多様化等が進むなか、今後、企業がより成長していくためには、女性の活躍の推進が大変重要になると考え、初めて女性のエンパワメントをテーマに、プログラムを実施することとしました。

具体的には、国内で事前研修を受けた、関西企業で活躍する女性の中堅リーダー7名を米国のニューヨークとシアトルに派遣し、現地の企業や大学等で、米国における女性の活躍推進のための取り組みや課題などを学び、日本企業において女性が活躍するための方策の示唆を得たいと考えています。メンバーは、帰国後も研修を重ね、10月に本プログラムの成果を取りまとめる予定にしています。

<「米国派遣プログラム2014」現地研修概要>

- ◇主催：関西経済連合会、駐大阪・神戸米国総領事館
- ◇日程：2014年7月13日（日）～20日（日）
 - 事前研修：2014年5～6月
 - 事後研修：2014年8～9月、研修報告会10月
- ◇訪問先（予定）：ニューヨーク、シアトル（大学、企業、女性活躍を支援する団体等）
- ◇参加者：関経連会員企業で活躍する30～40代の中堅女性リーダー7名
- ◇訪問テーマ：日本企業において女性が活躍するための方策を検討するため、米国における取り組みや現状の課題を把握する

以上